

東鷲宮病院FAX通信

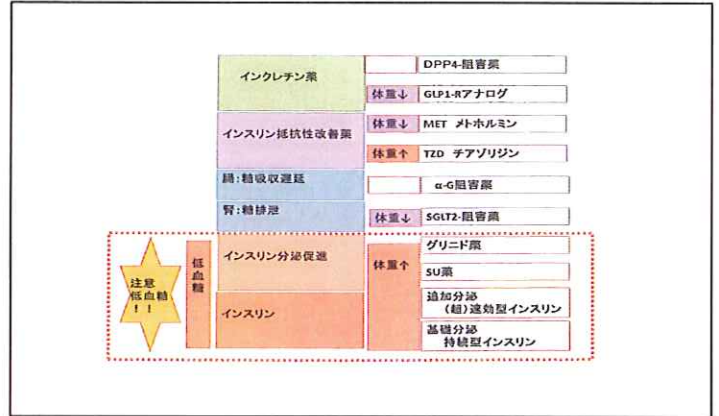
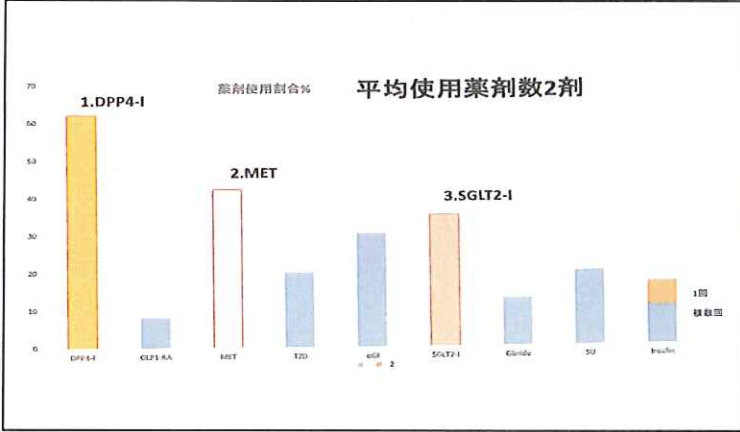


～ 糖尿病診療について ～

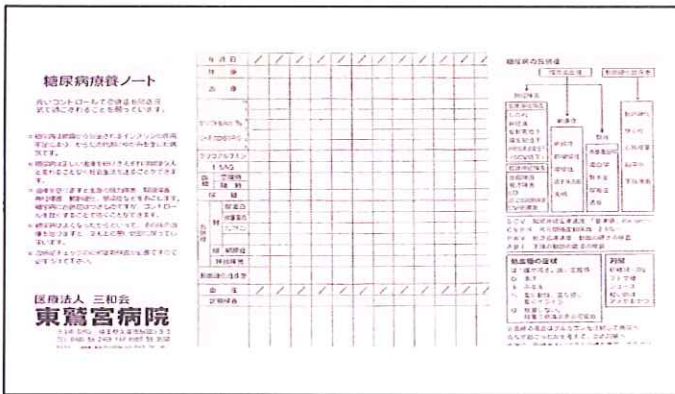
名誉院長 青木 博美 (あおき ひろみ)

2018年(平成30年)2月号

I 現在、月平均約700名が糖尿病治療のため受診されており、II 平均HbA1C 6.8%でコントロールされています。 使用薬剤はDPP-4阻害薬、メトホルミン、SGLT-2阻害薬がビッグ3です。低血糖に注意を喚起する意味も含めて薬剤の説明を行っております。



III 経過はコントロール状況、合併症の程度が患者さんと共有出来るよう糖尿病療養ノートを使用しております。



● その他、当院の取り組みについて

①糖尿病教室(月1回定期的に開催)



②管理栄養士による食事指導



③理学療法士による運動療法



④血糖自己測定

(経時的に採血無しで測定できる「フリースタイルリブレ」を導入)



⑤糖尿病性腎症予防

定期的に尿頻量アルブミンを測定して早期発見に努めております。

危険のある方は、血圧管理の徹底とともに腎保護作用のある薬剤、ARB、ACE阻害薬、GLP1-RA、SGLT2阻害薬、球形活性炭などの薬物療法、栄養指導などを行っております。

それでも悪化してしまった場合は腎臓内科、透析センターで治療を行っております。

⑥糖尿病性網膜症(眼科との連携)

下記の手帳にて定期的に眼科でのチェックを進めております。「眼科の先生、大変お世話になっております」



⑦糖尿病性足病変・壊疽の治療

定期的に足のチェックを行い、「早期発見」「予防」を行っております。血管治療が必要となった場合は血管外科へ依頼して治療を行っております。



⑧禁煙治療

糖尿病治療を行っていく上で禁煙は重要です。止めたいけど止められない方には禁煙治療を行います。



地域の皆様と協力し、糖尿病治療を行って行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

